

# 小平市立小平第四小学校～「全国学力・学習状況調査」結果概要～

## 1 調査目的・対象

この調査は全国の公立小学校6年生及び公立中学校3年生の学習状況を把握・分析し、学校における児童・生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的としています。

## 2 調査内容

### (1) 教科に関する調査

#### ●主として「知識」の力を見る国語A、算数A

身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技術などが中心の問題です。

#### ●主として「活用」の力を見る国語B、算数B

知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関わる内容が中心の問題です。

#### ●主として「知識」と「活用」の力を併せて見る理科

### (2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関することを児童が答える調査です。

## 3 各教科の調査結果の分析

### 【国語】

#### 状況の分析

#### 課題

国語Aの正答率は全国平均より2.3ポイント高かった。読む能力、言語についての知識・理解・技能の正答率が高く、書く能力は全国平均とほぼ同じであった。

国語Bの正答率は全国平均より1.3ポイント高かった。正答数分布グラフでは、上位層は平均並みであり、中間層の児童が多かった。

- ・漢字を適切に活用すること。
- ・主語と述語の関係を正しくとらえること。
- ・目的に応じて文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら書くこと。

### 学校で取り組む具体的な改善策

- 1 漢字スキル・ドリル等を活用し、反復練習・テストによる漢字の定着を図る。
- 2 主語・述語の関係を、日頃の文章作成や話し言葉の指導において意識させる。
- 3 必要な情報を捉えて要旨をまとめたり、自分の考えをまとめたりする時間を十分に確保する。

### 【算数】

#### 状況の分析

#### 課題

算数Aの正答率は全国平均より1.5ポイント高かった。しかし、量と測定の問題では全国平均より3.1ポイント低かった。

算数Bについては全国平均を3.5ポイント上回っている。一方で無回答率が14.5%の問題もあった。選択式、短答式の正答率は東京都の平均を上回ったが、記述式の問題では東京都の平均を下回った。

- ・単体量あたりの大きさを求める際の式と商の意味を捉えること。
- ・既習事項を基にして、図や式、言葉で説明すること。
- ・図形の構成要素の理解。
- ・規則性など示された考えを解釈し、条件を変更した数量関係について考察すること。

## 学校で取り組む具体的な改善策

- 1 東京ベーシックドリル等を効果的に活用して前学年までの復習を行い、基礎・基本の定着を図る。
- 2 課題解決の見通しをもたせ、自力解決、集団解決、振り返りの学習過程を重視し、自分なりの考えを表現する場面を意図的に設定する。
- 3 図や数直線から分かることを整理させたり、表を様々な視点から捉えさせたりして、示された考えを解釈できるようにする。

### 【理科】

#### 状況の分析

理科の正答率は全国平均より 1.7 ポイント高かった。主として「知識」に関する問題では 11 ポイント下回り、主として「活用」に関する問題では 4.8 ポイント上回った。物質・エネルギーの区分では全国平均をそれぞれ 8.3 ポイント、3.4 ポイント上回り、都の平均も超えている。一方、生命・地球の区分では全国平均をそれぞれ 4 ポイント、1.2 ポイント下回った。

#### 課題

- ・科学的な言葉や概念を理解すること。
- ・自然現象についての知識・理解を深めること。
- ・調べた結果について考察するとき、問題に対応した視点で分析すること。

## 学校で取り組む具体的な改善策

- 1 新出の用語や意味を分かりやすく板書で示して見やすいノート作りをさせるほか、ICT を活用して科学的な概念を目に見える形で提示し、理解を促す。
- 2 日頃から植物や天気、太陽と月などに関心をもって見るように指導する。
- 3 予想をもとに実験計画を立てたり、問題について実験結果から言えることを科学的な言葉を用いてまとめたりして、常に問題解決を意識して取り組ませる。また、獲得した知識や概念が実生活でどのように活かされているかを考えさせる。

### 【質問紙】

#### 状況の分析

将来の夢や目標をもっている児童が全国平均より多い。生活習慣や家庭での学習習慣が整っている児童が多い。

コミュニティ・スクールのため、地域の方と接する機会が多いが、地域ボランティアに参加経験のある児童は、全国平均より少ない。

新聞を読む児童は全国平均より少ない。

#### 課題

- ・学校のきまりや時間を守って生活する習慣を身に付けること。
- ・生活習慣、学習習慣、学習への意欲等の質問項目に対して、「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」と回答した児童が一定数いること。

## 学校等で取り組む具体的な改善策

- 1 「四小スタンダード」に基づいた生活指導を徹底する。
- 2 保護者会や学年便り等で保護者にも現状を伝え、家庭と学校が連携して取り組めるようにする。
- 3 道徳の学習で規則の尊重や自主、自律等に関する話を取り上げ、なぜ守らなければならないのかという価値理解を深め、実践しようとする意欲と態度を育てる。